

笑顔は街を変えられる



1部100円
 月決め購読は月2000円
 郵送購読は月2500円

ご購読申し込みは
 0120-4946154

クラフツマンの第一人者として名を馳せ、商業ポスターの世界で時代を切り、いつもこの街で何かを動かしてきた。又々40年のあるアート「を求めて街へ飛び出した」4年前、新宿で生まれた胆なみは彼のわたがりの笑顔を止めた。スリ、傘、靴とは何となくかたがた、進行中の笑顔に「SNSを向け、巨大なポスターにして街を駆けくす。顔の後の声、テロ一年後のニューヨークにも目を移した。スリ、傘、靴とは何となくかたがた、進行中の笑顔に「SNSを向け、巨大なポスターにして街を駆けくす。顔の後の声、テロ一年後のニューヨークにも目を移した。」

「僕は生きている人の心の中に、その瞬間を生きた。笑顔は街を変えられる。東京在住のアートディレクター水谷孝次さん(38)が次に選んだ舞台は札幌のまち、四番街商店街を舞台にした「ニコニコシアター」が、北の大地を揺るがしている。

「スリ、傘、靴とは何となくかたがた、進行中の笑顔に「SNSを向け、巨大なポスターにして街を駆けくす。顔の後の声、テロ一年後のニューヨークにも目を移した。」

「僕は生きている人の心の中に、その瞬間を生きた。笑顔は街を変えられる。東京在住のアートディレクター水谷孝次さん(38)が次に選んだ舞台は札幌のまち、四番街商店街を舞台にした「ニコニコシアター」が、北の大地を揺るがしている。

「スリ、傘、靴とは何となくかたがた、進行中の笑顔に「SNSを向け、巨大なポスターにして街を駆けくす。顔の後の声、テロ一年後のニューヨークにも目を移した。」

「僕は生きている人の心の中に、その瞬間を生きた。笑顔は街を変えられる。東京在住のアートディレクター水谷孝次さん(38)が次に選んだ舞台は札幌のまち、四番街商店街を舞台にした「ニコニコシアター」が、北の大地を揺るがしている。

「スリ、傘、靴とは何となくかたがた、進行中の笑顔に「SNSを向け、巨大なポスターにして街を駆けくす。顔の後の声、テロ一年後のニューヨークにも目を移した。」

「僕は生きている人の心の中に、その瞬間を生きた。笑顔は街を変えられる。東京在住のアートディレクター水谷孝次さん(38)が次に選んだ舞台は札幌のまち、四番街商店街を舞台にした「ニコニコシアター」が、北の大地を揺るがしている。

「スリ、傘、靴とは何となくかたがた、進行中の笑顔に「SNSを向け、巨大なポスターにして街を駆けくす。顔の後の声、テロ一年後のニューヨークにも目を移した。」

「僕は生きている人の心の中に、その瞬間を生きた。笑顔は街を変えられる。東京在住のアートディレクター水谷孝次さん(38)が次に選んだ舞台は札幌のまち、四番街商店街を舞台にした「ニコニコシアター」が、北の大地を揺るがしている。

「スリ、傘、靴とは何となくかたがた、進行中の笑顔に「SNSを向け、巨大なポスターにして街を駆けくす。顔の後の声、テロ一年後のニューヨークにも目を移した。」

「僕は生きている人の心の中に、その瞬間を生きた。笑顔は街を変えられる。東京在住のアートディレクター水谷孝次さん(38)が次に選んだ舞台は札幌のまち、四番街商店街を舞台にした「ニコニコシアター」が、北の大地を揺るがしている。

昨年未だ販路にわたった札幌の街に、水谷孝次さんの笑顔が、街を変えている。



プロフィール
 1951年3月14日、名古屋に生まれる。大学卒業後、いくつかの広告デザイン会社を経て、77年に日本デザインセンターに入社。世界を舞台にさまざまな商業ポスターを手がけ、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞、ニューヨーク・ADC国際展金賞、コロラド国際ポスター招待展最高賞など、国内外で数々の賞に輝く。83年に水谷事務所を設立。00年に新宿でメリプロジェクトを成功させたのを皮切りに、ロンドン、神戸、ニューヨーク、六本木で次々と開催し、街を笑顔で包んできた。

アートディレクター 水谷 孝次さん

ニコニコシアター

4番街商店街舞台に